

Lesson 2

【お金を稼ぐ・税金と保険】

I お金を稼ぐ(働く)

Q1 会員の平均年収はどのくらい？ 約 436 万円 (※令和元年「民間給与実態統計調査」国税庁)

・日本の15歳以上の人のうち、働いている人(労働力人口)は約6,700万人

このうち、会社員や公務員など、雇われている人は約 6,000 万人(約 9 割を占める)

Q2 “会社に勤める”場合、どのような働き方(雇用形態)がある？

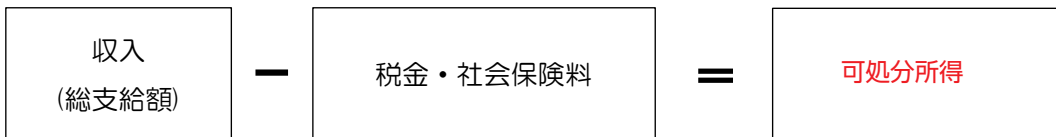
正社員、契約社員、派遣社員、パート・アルバイト、業務委託契約など

Q3 上のうち、働き方(雇用形態)を2つ選び、それぞれのメリット・デメリットを書き出してみよう

働き方	[正社員]	[アルバイト]
メリット	収入が多い 福利厚生・社会保険が手厚い など	終業時間の融通が効きやすい 転勤がない など
デメリット	就業時間が長い 部署移動や業務変更・転勤がある など	雇用が不安定 退職金や賞与がない又は少ない など

II 税金と社会保険

・会社から支払われる給与(収入)からは、税金 や 社会保険料 が差し引かれる



・社会保険は生活上のさまざまなリスクに対して、事前に 保険料 を出し合って、経済的な損失を被った人にお金を渡す相互扶助のしくみ

〔保険制度〕

- ・ 社会 保険(公的 保険)：おもに政府が運営し、国民が加入
- ・ 民間 保険(私的 保険)：民間企業が運営し、必要に応じて個人が自由に加入

Q4 社会保険にはどのような種類がある？ 公的医療保険 ・ 介護保険 ・ 公的年金 ・ 労働保険

● 「社会保障制度」で用いられる“自助・共助・公助”の考え方

- ・自助：自発的に自分の身を守るしくみ→ 貯蓄 ・ 民間保険
- ・共助：制度化された相互扶助のしくみ→ 社会保険 (財源は 税金 + 保険料)
- ・公助：自助・共助で対応しきれない場合に生活保障を行うしくみ→ 公的扶助(生活保護など) (財源は 税金)

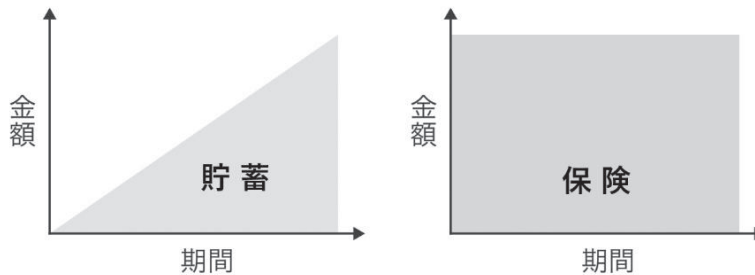
Ⅲ 民間保険

- ・リスクへの対策をすることを **リスク管理** (**リスクマネジメント**) という
- ・一人ひとりライフスタイルが異なるため、社会保険を補完する目的で民間保険が存在する

〔民間保険の種類〕

- ・生命保険：死亡や病気・ケガのリスクに備える。
- ・損害保険：偶発的に起きた事故や災害のリスクに備える
- ・傷害・医療保険：介護や就業不能、死亡や病気・ケガなどのリスクに備える

- ・リスクに備えるためには、リスクが発生した場合にかかる支出や減った収入などの経済的損失を **貯蓄** でまかなうのか、 **保険** を活用するのかを考えておかなければならない



Q5 貯蓄と保険のメリット・デメリットを書き出してみよう

	貯蓄	保険
メリット	貯蓄したお金はいつでも自由に使える、途中で目的変更できる など	加入した点で必要な金額を用意できる、少ない保険料で大きな金額(保障)が得られる など
デメリット	目標金額に達するまで時間がかかる、リスクに遭遇した場合、全額補償できるとは限らない など	目的外への利用は原則できない、途中で保険を解約した場合、解約返戻金は支払った保険料合計額より少ない場合がある など

振り返り (1:できなかった 2:まあまあできた 3:できた 4:よくできた)

〔授業で学んだこと・印象に残ったことなど〕